

読みながらふと立ち止まって考えさせるようなものを

理事長 中村大蔵

「園田苑だより」や「風話鈴香」を作成しながら、いつも思うことがある。果たして「何人の人が読んでくれているのだろうか」否、「読ませているのだろうか」と。

道を歩いていて、「園田苑だより」や「風話鈴香」が風に舞っているのを見ると悲しくなる。もっとも、こちらが一方的にポスティングし送りつけているものだから、無理のないことかも知れない。だが、印刷し切手を貼り、手間暇かけての労作？であっても、相手にとっては“そんなこと知ったこちやない”である。

最近どこの福祉施設も、一昔前には考えられぬくらい金もかけて、専門業者の手によるきれいなカラー印刷である。「風話鈴香」が100%手作りだった時代、県下の老人福祉施設連盟の新聞コンクールで、「味がある」と評価され賞をいただいたことが懐かしい。

県内外の施設から送られてくる、それこそおびただしい新聞類を、園田苑でも専用掲示板に枠をはみ出すぐらいピンでとめ掲示しているが、その前で足を止めて見入っている職員の姿はほとんどない。

こちらからのものも他施設では同じだろうと思うと、これは一生懸命作っている者の自己満足に過ぎないのかもしれないと不安に陥る。そんな時、記録としての意味もあるからと自分を納得させている。

施設は何かにつけマスコミの取材対象となる。とりわけ福祉施設は。取材申し込みに際しては「その場限りの記憶に残らない記事はヤメてくれ」「四季を問わずいつでも載せることの出来る記事もダメ」、「穴埋め記事はもつてのほか」、そしてとどめは「読みながら、ふと立ち止まって考えさせる記事にしてほしい。読者に問題提起をするようなものに・・・」と注文をつけている。

だが、それは直ちに我に返ってくる言葉である。厳しいようだがこの立場を堅持しながら「園田苑だより」「風話鈴香」をこれからも発行していきたいと思う。

今年もよろしくお願いします。

幸せをたくさん感じられますように ～恒例 おせちの会～

2015年1月3日、玄関の華やかなお正月の装いに迎えられ、おせちの会参加者一同がセンターデイサービスに会しました。新年を迎えた喜びも合わさって、皆さんの表情もひととき華やいで見えました。

併設デイの利用者である荒木清さんの乾杯の音頭を皮切りに、おせちの会がスタート。テーブルには、彩豊かな御馳走が所狭しと並べられていました。「エビフライとって」「これは何や」と普段は、少食の方々もご自身から声をかけて下さり、いつもよりたくさん召し上がっておられました。

宴もたけなわとなりスタートしたのは、参加者や職員の自己紹介、そして職員個人にまつわる〇×ゲームでした。景品獲得目指して、皆さん考えながら参加されていました。未だに藤井英子さんに50代と勘違いされていることが、私の中では、大きな初笑いとなりました。各職員のユニークな問題に惑わされながら、皆さんの顔に思わず笑顔がこぼれていました。



理事長挨拶の際、おせちの会は、園田苑開設以前より小中島診療所にて開かれていたと紹介がありました。当日は、一人暮らしのお年寄りを中心に、たくさんの方々にお越し頂くことができ、お正月をにぎやかに祝うことができました。共に楽しく食卓を囲み、幸せそうな皆さんの様子を見て、こちらもお裾分けにあずかりました。この新たな一年もどうか一人ひとりがそれぞれの幸せをたくさん感じられますように…。

認知症対応型通所介護 協田 香



備えよういざという時の為に！ ～地域の防災訓練に参加～

11月30日 日曜日 私は、小中島地区防災訓練に初めて参加させていただきました。

学生の頃、学校では訓練をしたことはありましたが社会人になって参加するのは初めてで少し緊張していました。今回の防災訓練は地震が起き、公園（実際は小園中学校）へ逃げるという設定でした。

入居者の方々も一緒に参加されたのでまず初めに身の安全確保を行い外に出ました。それから公園へ行き消防団の方々から説明があり消火器の使い方や火災報知器の重要性等色々な話を聞きました。地震や火事の恐ろしさを感じ、実際起こったらまずなにをするべきか、その前になにができるか考えさせられました。また、炊き出し訓練もありアルファ米を使用した炊き込みご飯と豚汁が振る舞われました。



実際に地震や火事が起きると逃げることに精一杯で荷物を持って行く余裕などないと思いますが、実際起こった時必要な物は持って行けるように今から準備しておいても遅くないと思いました。

いつ、どこで何が起こるか予想できないので今、自分にできることは精一杯やっていきたいと改めて感じた防災訓練でした。

デイサービス 馬場 ゆかり

11月30日(日)尼崎双星高校にて口田中地区の防災訓練に参加しました。

各地区ごとに集合。総勢300名強の参加があり、老若男女地域にこんなにたくさんの知らない人がいらっしやったのかと驚きました。

会長挨拶のあと、AEDのレクチャー、消火器の体験を行いました。ちょうど1週間前、近所の団地で火事があったばかりだったので火事の恐ろしさを再認識しました。

地震の話もあり、最後はアルファ米の試食を行いました。既定の水加減ではやや硬めで歯の調子の悪い高齢者にはもう少し水を多めにした方が食べやすいかもしれません。

尼崎市「園田南」地域包括支援センター 熊本 久美子



11月30日(日)
園田東小学校にて
防災訓練に参加しました
戸ノ内橋を歩いて避難訓練
しています。



消火訓練や負傷者の救助方法など消防署員の指導により体験しました。

カレーの炊き出しもありました。
尼崎市「園田南」地域包括支援センター 宇野 豊

男性職員料理教室

～仲山さんのご主人も参加～

12月11日木曜日、男性職員を対象とした料理教室を行いました。

メニューは炒飯・酢豚・棒棒鶏（バンバンジー）の3品を皆で協力して作りました。予定より多く職員が集まり、入居者のご家族様にも参加して頂きました。人参やきゅうり、お肉などの切り方をご指導させて頂きました。

最初は慣れないながらも切っていましたが、最後のほうはコツをつかんで頂いたようでした。

最初から最後まで楽しんで頂いているようにも見えましたが、自分自身も楽しみながら指導させて頂きました。作っていると利用者様から「なんや良い匂いがするなあ。」「ご馳走や。」などの言葉を頂き、どんどん出来上がっていく料理を楽しみにされていた利用者様にも食べて頂きました。いつものお食事に加え、作った3品を全て召し上がった方もいらっしゃったのでとても驚きました。

初めてということもあり少し時間はかかりましたが、出来栄、味も評判がよく皆様から美味しいと言ってくれました。次回あればまた参加したいと言ってくれたので出来れば次回も企画したいと考えています。

厨房 栄養士 川田 翔也



男の料理教室に参加して料理を作れて楽しかったです。職員の一生懸命の姿を見ることが出来たし、自分自身も一緒に出来たことが良かったと思います。

分かりやすく教えてくれたし、（自宅で自炊は難しいなあとは思いますが）また、機会があったらお願いします。

入居者ご家族 仲山さん

出来立て熱々のうどんバイキング ～ご自分でチョイスが旨い！～

12月10日水曜日、前回のデイサービス・厨房合同企画、どんぶりバイキングが大好評だったのを受け、この度は“熱々のうどんに合う選べるトッピング祭り”をデイサービスにて開催しました。

事前にデイサービスの職員さんがどんな天ぷらを食べたいか、数週間前から利用者さんにリサーチしてくださり、エビ入り野菜かき揚げと紅ショウガのかき揚げ、ちくわの磯部天ぷら、半熟玉子の天ぷら、を厨房で揚げました。セットでお出しするおいなりさんは、デイサービスご利用者様に酢飯をつめて頂きました。うどんは、さぬきうどん店のように、皆さんの前でうどんをゆでて、熱々のだしをかけました。

皆さんうどんの上に、ご自分で選んだ天ぷらをのせ、ペロっと食べられました。多めに揚げて用意した天ぷらも全て食べて頂きました。用意したおいなりさんも、一人平均3個召し上がられました。やはり出来立てで熱々だとたくさん食べて頂けるんだなと、実感しました。

厨房だけではなかなか利用者さんのご希望も実現できなかったのですが、デイサービスの利用者の方や職員の皆さんに力を借りて、企画が継続出来たらいいなと思っています。月に1回を目標に、食のイベントをしていけたらと思っています。

厨房 調理師 竹林 清美



園田苑の新規事業 開設工事始まる

～ 小規模多機能居宅介護 奮闘記 第1話 ～

いよいよ、小規模多機能の開設に向けた準備がスタートしました。先日の11月19日には、南港ATCにあるアイリスチトセのショールームに行ってきました。(アイリスチトセは福祉施設で用いる家具を沢山、作っておられるメーカーです)

この日の目的は、「どんな椅子を使うか」下調べすることです。とは言っても、椅子はお年寄りが使う物、職員目線では分からないのではと思い、「協力するで」と申し出て下さったデイサービスの荒木清さんと看護師の山本さんと3人で行ってきました。清さんに沢山の椅子に座ってもらい、座り心地を見てもらいました。かなり細かく、座った感想を述べてくださり、「これが1番、ええように思う！」と選ばれた椅子は…



アイリスの中でも1番の性能を持った椅子でした。さすが、清さん！「違いが分かる男」です！この日の収穫を参考に、椅子を購入したいと思います。清さん、本当に有難うございました！最近では職員の風紀を正すべく奮闘して下さっています。

【後日談】やはり、テーブルや椅子が全て揃ったデザインは、「THE 介護施設」という感じがします。介護を受けやすいように作られた場所で、本当にお年寄りが主体的に過ごせるのか？「小規模多機能は生活感を重視した」居場所にしたいと思います。前号で安永さんが「変えてはならないもの」と「変えていかなければならないもの」と書かれていたことが、胸に響きます。園田苑の椅子は、お年寄りに合わせることにこだわって、同じ種類の物が殆どありません。

工事が着々と開始

現在、内装工事の真っ最中。小規模多機能は、ホテルのような美しさより、生活感を重視しています。前述の荒木清さんに「もし、ご自分のお部屋だったら、床と畳のどちらが良いですか？」と尋ねると、「そりゃ、畳に決まっとるがな！」ほっこりした空間を目指して、小規模多機能の居室の半分は畳にする予定です。



新規事業の名称が決定！

小規模多機能型居宅介護
園田苑

デイサービスセンター
ぜん
Zen

心がつなぐと安心

～地域サポート型特養開始3か月～

2014年9月より地域サポート型特養の事業が始まり、はや3ヶ月がたちました。

現在、利用者が6名(男性2名、女性4名)になりました。

利用開始直後は、こちらから電話や訪問することが大半でした。3ヶ月がたって、日中・夜間「さみしい」といったお電話をいただいたり、「こんなことがあった」などの電話をかけてくださるようになりました。訪問時、1日のちょっとした話を聞かせてくださるようになりました。これは、非常に嬉しいことです。

ささいな会話ができるようになることは、独居の高齢者を見守る上で、重要なことの1つです。独居の高齢者は、1人で悩みを抱え込むことが多いです。

日頃からささいなことを話していただいたり、悩みを吐き出していただいたり関係作りをしておくことで、いざというときに「助けて」と言える、高齢者の心に寄り添う事業にしていきたいと思います。また12月18日には、事業の一環として介護者教室(高齢者疑似体験)を開催しました。

ご参加や広報にご協力くださった方々ありがとうございました。

LSA 三浦 佳幸

体験し感じる事が大事!

～高齢者疑似体験教室～

12月18日木曜日、介護者教室として高齢者体験キットを使用し高齢者の身体的な特徴を勉強することを目標に開きました。今回、24時間地域サポート型特養の事業の一環として地域に向けて行いました。

約1ヶ月半前から準備を始め、ポスター貼りや地域への呼び掛けなどを行うと同時に、どのように進めていくのかを考えました。以前に入居者のご家族の森様が高齢者体験キットを使用し体験したことがあるとお話を聞き、講師をお願いすることになりました。

この介護者教室を地域の方に知っていただくために、連協の会長や民生委員の方々、婦人会の皆さんに声をかけさせていただき、また、近くの事業所や保育所・そして店舗にもポスターを貼らせて頂きました。地域の方々に参加して頂きたいと思う中で、若い世代の方にも参加して頂き、地域にある施設の事を知ってもらえたらと思っていました。どんな人が参加してくれるだろうかと胸を躍らせていましたが、12月に入っても参加希望の連絡がなく少し焦りましたが、担当者が毎日地域に出向いたおかげで18日が近づくにつれ参加の連絡が入り、定員20名を設定していましたが、それを超える約25名の方から連絡が入り、ほっと胸をなで降ろす一方しっかりと行なっていくと思いました。

当日は約20名の方が参加してくださいました。まずは、講師の森様から高齢者の心と体の特徴の話があり、装具の説明、そして体験へと進みました。

今回の体験は7つ。薬の服薬・チラシや冊子の閲覧・着座・自動販売機の購入・階段の下り・買い物・エレベーター。



3人一組でグループを作りいざ出発。職員も横につきながら、歩き方は普段とどのように違いますか?見え方はどうですか?など声をかけながら一緒に歩いていると、「見えていますし特に変わりがありません」という答えが返ってくることも。「あれ?」と思いながらその方を注意深く見ていると、自販機の飲み物を見ている姿は、首を一生懸命動かしています。その事を伝えると体験している本人はあまり意識していなかったようです。周りから言われて気づくことも多かったようです。瓶のふたが開けにくかったり、階段を下りる怖さを体験したりする中で、グループでいろいろな意見が出ていました。その後ぜんざいを食べながらの茶話会。様々な意見や感想が出ていました。これを機に様々な輪が広がればと思います。

今回の介護者教室を初め、地域の方々への情報発信の場として園田苑が担うことが出来るように、そして何かあれば「園田苑に相談すればなんとかなる」と思ってもらえるようにより一層地域への関わりを強化していきたいと思っています。

介護者教室は今回だけでなく今後も継続して行っていきます。2月は「認知症について」です。是非皆さんご参加ください。

特養 生活相談員 大上 茂利



オムツもイロイロ ～入居者の排泄もイロイロ～

11月12日にあったグループホーム・グループハウス連絡協議会主催の浜田きよ子さんの勉強会に参加した次の日、ヘルパーさんたちと「両前左右にファスナーがついたパンツがあって・・・」と雑談していると、「それ、村田さんに使いたいかも」「一回行ってみたいわ」との声があがり、「私も行きたい」「ほんなら一回行ってみようよ」と今回の「むつき庵」見学となりました。



前日、日本全国に寒波が襲った12月19日(金)朝、「おはようございます」とスキップしながら出勤してきた片岡ヘルパーは短いスカートをはき、短いコートを羽織り、髪をきれいに整えていました。

「何？京都やで、研修やで」と言う「京都でしょ。京都だから…何年ぶりやろ。声かけられることもありでしょ」と妙に浮かれてテンションの高い片岡ヘルパーを横目に「アカン、ついて行かれへん。」と大上ワーカー、上野ヘルパー、田中施設長の厚着3人組でした。

～汚れたら捨てればいい～

今回、初めて研修に行かせてもらいました。今まで見たことのない、オムツやパンツなどが色々あって正直驚きました。お店の中を見ていて、あ～なるほど！とかこれはすごい！って思うことがいっぱいありました。

今まで私はオムツの事を、楽し、汚れたら捨てればいい。ってことしか考えていませんでした。この研修で感じ

たことは、入居者さんの着け心地を全く考えてなかったなあ…。って思い知らされたことでした。

私は今後、どうやったら入居者さんに負担がかからないのかを考えられるヘルパーになりたいと思いました。

特養 2階ヘルパー 片岡 育美

おむつかバーに素敵な刺繍

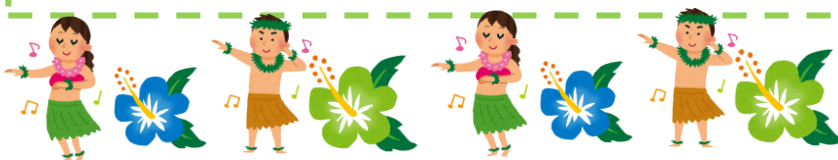
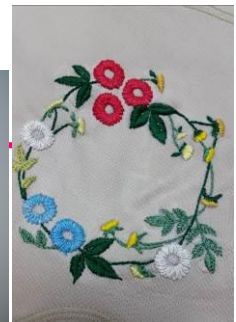
ほんわか暖かい冬のひと時 ～フラダンス～

11月29日、外は少し寒い気候でありましたが園田苑には常夏の優しい風が吹いていました。

イリマ・マチコさんをはじめとするフラダンスグループの皆さんが園田苑でフラダンスを昨年に引き続きしてくださいました。

かわいいレイを入居者さんにも掛けていただき、最後の曲にはみんなでフラダンスを踊りました。

ほんわか暖かい、冬のひと時を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。



きよしこの夜 ～クリスマス～



☆クリスマス聖歌隊☆

入居者のご家族から聖歌隊のコンサートのお話を頂き、12月25日にカトリック園田教会のサン・ジュゼッペ聖歌隊と百合学院保護者で結成したセシリアコーラスの皆さんに来ていただき、コンサートを開いていただきました。ゴスペルあり、クリスマスのポピュラー音楽ありと入居者・利用者の皆さんがとても楽しまれていました。



☆園田苑にサンタクロースが！！☆



毎年、12月近くなると、杠葉さんにクリスマスにサンタクロースになって頂けないか相談しに行っています。初めは、「またー？」と言い、断ろうとされます。「誰もいないか？」と言われ、「3年連続やな、いいよ。」と笑顔で言って下さいました。それから「髭も伸ばすやろ？」と言い、1ヶ月くらい髭も伸ばし始めました。段々髭も伸びてくると、唇にかかるので、男性職員に髭のカットをしてもらうようになりました。段々サンタクロースに近づいてきました。

当日、「クリスマス会まで横になる。」と言い準備万端の体調管理もして下さいました。サンタクロースに衣装に着替え、プレゼントを持ち、一人一人の入居者に「メリークリスマス♪♪」と言い、渡しに周って下さりました。入居者の方は、「サンタクロースや！」と言い喜ばれている様子でした。

杠葉さんは、途中少し眠たい様子もありましたが、デイサービスのフロアに到着すると、段々元気も出て来て、自己紹介をされたり、普段からしているジャンケンをし勝ったり負けたりすると、「アハハ〜。」など、にこやかな表情をされていました。「来年も宜しくお願いしますね。」と話すと、「アハハ〜。」と笑顔を返されました。

クリスマスが終わり、入浴の日に髭を剃りました。さっぱりした表情をされるいつもの杠葉さんに戻られました。

また、来年もサンタクロースが園田苑に来て下さいますように・・・☆

特養3階 山田 理恵



☆善法寺保育園にもサンタさんが来た〜☆



12月19日善法寺保育園でクリスマス会がありました。クリスマスの歌を歌ったり、保育士さんのベルの演奏や切り絵の出し物を見たり、キャンドルサービスで今年1年楽しかったことや頑張ったことをろうそくの明かりを見ながら振り返りました。そしてお待ちかねのサンタさんの登場！今年は特養家族会の森さんにお願いしました。

「メリークリスマス☆みんなが良い子にしてくれたからサンタさんはトナカイのそりに乗ってやってきたんやでえ〜」と大阪弁もご愛嬌。

乳児さんはびっくりして泣いてしまう場面もありましたが、幼児さんは

「どこから来ましたか？」と質問タイム。サンタさんにプレゼントをもらう時にはみんな並んでかしこく待っていることができました。

森サンタさんありがとうございました♪

居宅 河合 恵子



入居者忘年会

～ダメよ、ダメ ダメ～

園田苑年末の一大イベント！

今年も入居者忘年会が開催されました。入居者はもちろんのこと、たくさんのご家族さん、ボランティアグループ「園」にも参加して頂いて会場は大盛り上がりの様相を呈していました！

出し物では、入居者参加型、理事長巻き込み型、今年の流行をふんだんに取り入れ型など様々な趣向が凝らされていました。

最後には恒例の審査員による授賞式もあり、今年最後の大イベントは有終の美を飾り幕を閉じたのでした。



年末年始は大忙し！

園田苑の年末の恒例、しめなわ作りです。

ボランティアグループ「園」さんご指導のもと、今年も立派なしめ飾りが出来、玄関に飾ることが出来ました！



今年もおせち料理を皆さんと一緒に作らせてもらいました。

筍煮が始めは良かったんですが、少し煮過ぎてしまい味が辛くなってしまいました…。次のおせちは今回のようにならないように頑張ります！

特養 2階 片岡 育美

あけおめー！

～今年も引き続きチョツタ、チョツタ～

大晦日の夜は毎年恒例のおせちを食べながらの年越し、夜更かしする日です(笑)

乾杯の合図を待てずに、食べ始めるわ飲んじゃうわ(笑)笑い声に包まれながらおせちを食べて年越しです！

おせちを堪能している私に突然、「カウントダウン、何するの？」と上司達からの突然の無茶振りが！！何も案が浮かばない私は、ありきたりな 10 秒前からのカウントダウン。両手を広げてフィニッシュ(笑)結果、2 秒遅れとなりましたが、無事終了？(笑)

その後も、職員が心配する程皆さんはおせちを堪能されていました(笑)また、来年も年越しおせちを堪能しましょうね(笑)

特養 2階 上野 美紀



つづれ草紙

今年も園田苑は、大晦日の夜会から一夜明け、静かに元旦を迎えました。

玄関は『園田神社』の大鳥居をはじめ、お正月の雰囲気をつんだに盛りこんだ飾り付けで皆様をお迎えしました。

今年も、生活感、季節感を大切にした雰囲気で皆様をお迎えいたします。



入居者はラーメン好き！ ～ラーメン博物館へGO～

12月3日、池田のラーメン博物館に行ってきました。本当は紅葉狩りにいく予定でしたが数日前の雨で散ってしまい急遽変更となりました。

入居者も職員もワクワクしながらいざ出発。「お昼ご飯は何を食べましょうか。」「カップラーメン！」と林さん。今日のお昼はカップラーメンに決定。

「味噌がええわ。」と谷本さん。(私は醤油にしよう。)と食べることばかり考えていたら目的地に到着。

さあ！ラーメンを作ろう！ということで皆でラーメン作り。「どんなんでもええわ。食べれたら。」と西本さん。「ちゃんと書けてるかな？顔に見える？」と中西さん。小倉さんに「具は全部肉にしよう。」と肉大好物の山崎が提案。「何でもいい。」と一言。(肉だらけのカップラーメン！)と思いながら列に並びました。いざ具を入れる時になると「卵も入れる。海老も。」としっかりと意見を言われていました。(お肉ヌードルは嫌だったのか)と思い、聞いてみると「他のも入れた方がおいしい。」とのこと。皆、個性的で一人一人オリジナルのカップラーメンの完成！

自由スペースで入居者さん、ボランティアさん、職員の16人全員でカップラーメンを食べました。いつも食べているカップラーメンですが、やっぱり皆で食べるとより美味しい！久しぶりに食べるカップラーメンは「どこのラーメンより旨い。お土産に買って帰る。」と谷本さん。「こんな、山盛り。おいしいけど食べれるかな。」と藤田さん。美味しく頂いて帰りの時間。西本さんの歌を聞いていると、あっという間に園田苑に着きました。



紅葉は見れなかったけど、食欲の冬ということで食べることにしか考えない日。自分で好きなものを選ぶって素晴らしい！一人一人の個性を見せて頂いたあっという間の一日でした。

次はバイキングに行ってみようと思案中。

急にお願ひしたのにも関わらずたくさん来て頂いたボランティアさん。たいへんありがとうございました。

特養 副主任 山崎優花

ラーメン博物館への外出に行けなかった方にも、ラーメンを食べてもらいたい！と職員が後日企画したカップラーメンの日。机の上に所狭しとぎっしり敷き詰められたカップラーメン・うどんの数は80個以上。ご自分で選んでもらったカップラーメンに職員総出でお湯を入れていきます。

3分待つてくださいよ～と声をかけるも待ちきれずに食べてしまう方数名(笑)。田中五郎さんは3分で出来上がって5分でお汁まで完食されました。

特食の方にも職員がミキサーなどにかけてなめらかにし、食べて頂きました。だまになってしまったり、トロミをつけるのが難しかったりと苦戦しましたが美味しい！と笑顔の森さん。厨房さんの大変さも分かることができた一日でした。たまにはいいなあ。次はインスタント焼きそば！？



つづれ草紙

元日の午後、初詣に行ってきました。風も強く、とても寒い日でしたが初詣に行きませんか？のお誘いに応じて下さった方数名と伊佐具神社まで行ってきました。

お賽銭を握り、拝殿まで行きしっかりとお参りを皆さんされていました。今年も皆さんにとって良い一年でありますように！



12月27日園田苑で毎年恒例の餅つき大会が行われました。

私はこれまで一度もしたことがなかったのでとても良い経験が出来ました。入居者さんも楽しんでくれていたのでとても嬉しかったです。美味しそうに食べてくれている姿をみて、来年は私が率先してやって行きたいと思いました。

特養 山ノ内 和広



～園田苑からのお知らせ～

2月15日(日)新規事業Openバザー:小規模多機能型居宅介護園田苑とデイサービスセンターZen 開設に伴い支援バザーを開催します! 温かい軽食もあります。

11時～14時小中島公園にて。

2月21日(土)介護者教室「認知症教室」:認知症の前段階(軽度認知障害)を含めると65歳以上の4人に1人が認知症です。そんな身近な存在の認知症を学びませんか？

14時～15時園田苑2階食堂にて。

2月28日(土)3月1日(日)デイサービスセンターZen内覧会:園田苑の新規事業Zenの内覧会です。ご見学は申込不要です。どなたでもお越しください。昼食を召し上がっていただけます。ご希望の方は事前申込ください。

11時～15時、尼崎市善法寺町 10-3SA ドーム2階にて。

3月1日(日)デイサービスセンターZen開設:上記住所にて通所介護を開設します。

3月31日(火)ジャグリング:太神楽曲芸師の豊来家 大治朗さんが園田苑で曲芸を披露してくださいます。

14時～園田苑2階食堂にて。事前申込不要、参加費無料。

編集後記

子どもみたいな話ですが、年末年始、お祝い事続きで食生活が随分乱れて不調でした。七草粥を待たずしておかゆ生活に。内臓の健康は大切大切。

(きりん)

今年の目標は目の前のやらなければならぬことを中途半端に終わらさず、やりきるようにします。

(きんたろう)

ゆっくり立ち止まって熟考する時間がほしい。

自分と向き合えない人は、他人と向き合えない。(酒浴女)

一人で車を走らせ京都を往復した。新規事業の玄関に飾る看板の依頼のためである。

工事着々と進んでおり、当然のことながら、気分も高揚してきている。職員たちにも、現場を必ず見るように指示し、短期決戦ムードを醸し出している。

チラシができあがり、小物を揃え、内覧会の準備などがはじまっている。「地域の産物」になるようなそんな場所にしていきたい。(野の花)